CADEWA Real 2013 SP1 の更新内容

CADEWA Real 2013 SP1 (Service Pack 1) には、CADEWA Real 2013 発売以降の機能追加・機能改善が含まれています。

以下に CADEWA Real 2013 SP1 での機能追加・機能改善を記載いたします。

2014年2月

Copyright (C) 株式会社四電工

Copyright (C) 株式会社富士通システムズ・ウェスト

機能追加及び機能改善項目

【基本機能】

1. Windows 8.1 対応 [機能追加]

- マイクロソフト新 OS「Windows8.1」に対応しました。
 - ※仮想 OS (VMWare 等) 上での動作は保証致しません。
 - ※CADEWA シリーズは「Windows ストア・アプリ」ではなく、従来の「ディスクトップ・アプリ」です。
 - ※「Modern UI」上では動作致しません。

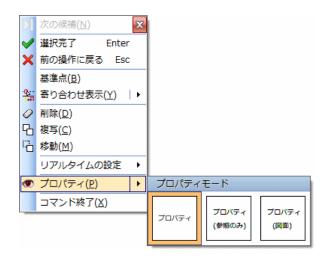
2. タッチ操作 [機能追加]

● 以下のタッチ操作に対応しました。

タッチ操作		CADEWAの挙動
ジェスチャ名	操作内容	CADEWAOJ李勤
タップ	シングルクリック ダブルクリック	左ボタンクリックと同じ操作
パニング	画面を押しながら 上下スクロール	スムーズスクロールと同じ動作
フリック	画面を押してから さっとはじくように動かす	スムーズスクロールと同じ動作
プレス&ホールド	画面を押したまま青い輪の アニメーションが表示されるまで待つ	右ボタンメニューを表示
ズーム	2本の指で間隔を 広げたり、狭めたりする	2本指の中央を中心に拡大・縮小

3. プロパティコマンド [機能改善]

● プロパティ,プロパティ(参照のみ),プロパティ(図面)を選択して起動できるように 改善しました。これにより、コマンドの起動状態によらずプロパティの全モードがコンテ キストメニューから利用できるため、覚えやすく、操作性が向上します。



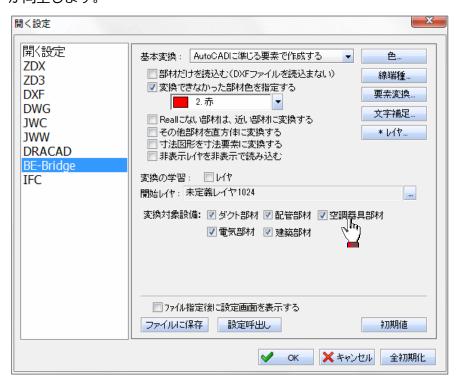
4. プロパティ(参照)コマンド [機能改善]

● Shift キー押下時、ブロックの構成要素を指示できるように改善しました。

5. 開く (CEQ) [機能追加]

● BE-Bridge Ver6.0 形式の読込みに対応しました。

これにより、「空調器具(制気口)」を部材として読込むことができ、他 CAD との互換性が向上します。



6. 開く(IFC) [機能追加・機能改善]

- 「複数図面に分割して読込む」において、図面の出力先フォルダを指定する機能を追加しました。(①設定) これにより、図面管理が容易になります。
- DXF・DWG 読込み時と同様に、全要素を図面中央に読込む機能を追加しました。(②設定)
- DXF・DWG 読込み時と同様に、レイヤ名称の学習機能を追加しました。(③設定)
- DXF・DWG 読込み時と同様に、図枠内に収まるように縮尺を自動算出する機能を追加しました。(④設定)



- 変換対象外としていた「どのフロアにも属さない部材」を、「フロア名未設定」シートに読込むように改善しました。
 - これにより、他 CAD との互換性が向上します。
- IFC グループに変換した際、稜線を間引くように改善しました。 これにより、見やすい図面となり、また、図面要素数も低減されます。

7. 名前を付けて保存(CEQ) [機能追加]

● BE-Bridge Ver6.0 形式の出力に対応しました。 これにより、「空調器具(制気口)」を部材として出力することができ、他 CAD との互換



8. 名前を付けて保存(IFC) [機能追加・機能改善]

● 原点の位置設定=「図面中央を計算(センタリング)」で読込んだ図面を、読込み時の IFC ファイルに記述されていた原点位置で出力する機能を追加しました。

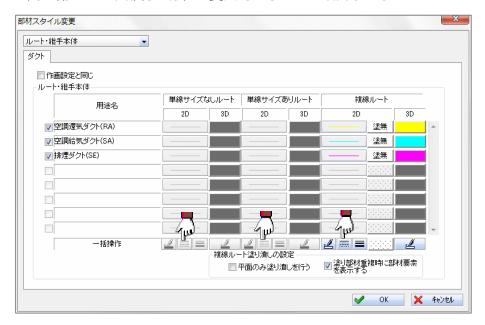
また、[DWG, DXF の出力原点設定] コマンドで変更した原点位置で出力する機能を追加しました。



- 「6. 開く(IFC)」に記述している「フロア名未設定」シートに作画した部材を「どのフロアにも属さない部材」として出力する機能を追加しました。
- ブロック要素を「その他 3D 部材」として出力するように改善しました。 これにより、他 CAD との互換性が向上します。

9. 部材スタイル変更コマンド [機能改善]

● 空調・衛生ルート部材の線種を変更できるように改善しました。



10. 寸法スタイルの変更コマンド [新機能]

● 作画済み寸法のスタイルを変更する機能を追加しました。 これにより、寸法スタイルを変更したい場合に、作画し直していた手間が省けます。



11. 要素毎の断面表示設定コマンド [機能追加]

● 要素毎の断面表示設定により非表示にしている要素を一時的に表示する機能を追加しま した。

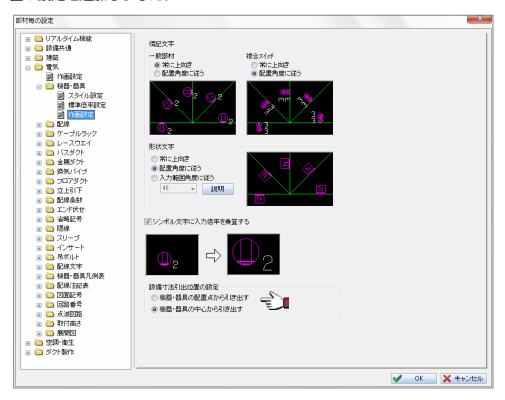
これにより、非表示の要素に対して要素毎の断面表示設定を変更したい場合に、現在の断面表示設定を解除することなく設定できるようになります。



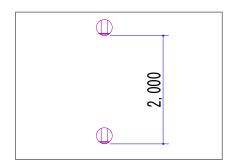
【設備共通機能】

1. 作画設定コマンド [機能追加]

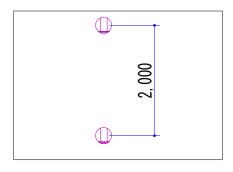
● [部材毎の設定] ダイアログの「電気」-「機器・器具」-「作画設定」に設備寸法引出位 置の設定を追加しました。



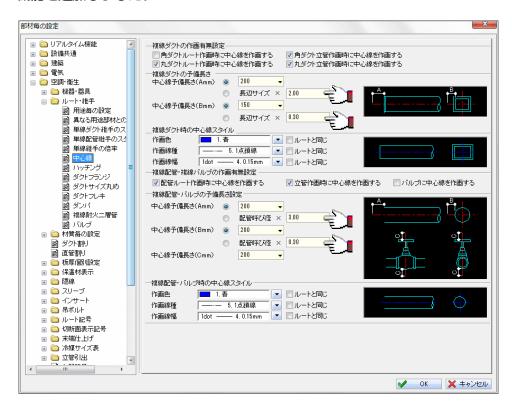
● 「機器・器具の配置点から引き出す」設定の場合



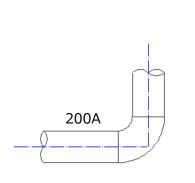
● 「機器・器具の中心から引き出す」設定の場合

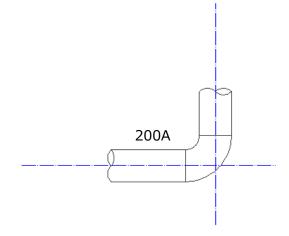


● [部材毎の設定] ダイアログの「空調・衛生」-「ルート・継手」-「中心線」の「中心線 予備長さ」に、複線直ダクトの長辺サイズ及び複線配管の呼び径に対する倍率を設定する 機能を追加しました。



- ●「固定長(200)」設定の場合
- ●「サイズに対する倍率(3.00)」設定の場合





2. 基準線指示 [機能改善]

- 下記コマンドについて、参照先図面の要素を基準線として指示する際、参照元図面に指示 要素の異縮尺が存在しない場合でも基準線指示できるように改善しました。
 - 設備共通コマンド鋼材作画,切断記号
 - ●建築コマンド 通り芯,柱,壁,梁,床,天井,屋根,割付,畳割
 - ●電気コマンド 機器・器具配置,配線,CG配線作画,立上引下,ケーブルラック,レースウェイ, バスダクト,金属ダクト,換気パイプ,フロアダクト,吊ボルト,スリーブ
 - ●空調・衛生コマンド 機器・器具配置, Stem 機器配置, ルート作画, スリーブ

3. スリーブコマンド [機能追加]

● CADEWAで作画したスリーブのサイズや位置情報をCSV形式のファイルに出力する機能を追加しました。

出力したスリーブデータの読込みには、片山ストラテック株式会社の KAP (鉄骨構造物専用 CAD/CAM) システムが対応しています。KAP システムでスリーブデータを読込むと、3D モデルでのスリーブ位置情報の確認ができます。



※KAP システムは片山ストラテック株式会社の製品です。

【建築機能】

1. 梁コマンド [機能追加]

● 梁作画時に梁サイズ文字を設定する機能を追加しました。 これにより、作画種別を「サイズ作画」に切り替えることなく梁サイズ文字の設定を行え、 作業の効率化が図れます。

また、梁作画と同時に梁サイズ文字を「作画する/作画しない」の設定を追加しました。 (上記設定の追加に伴い、梁サイズ文字はコンテキストメニュー内にある「リアルタイムの設定」 – 「サイズ注釈」の対象外となります)



【電気機能】

1. 機器・器具置換コマンド [機能追加]

● 継承項目の設定に異縮尺の設定を追加しました。これにより、置換する機器・器具の異縮尺を「継承する/継承しない(カレント異縮尺に



2. パナソニック照明器具ライブラリ登録コマンド [新機能]

作画します)」が容易に変更でき、作業の効率化が図れます。

(CADEWA Real LT は除く)

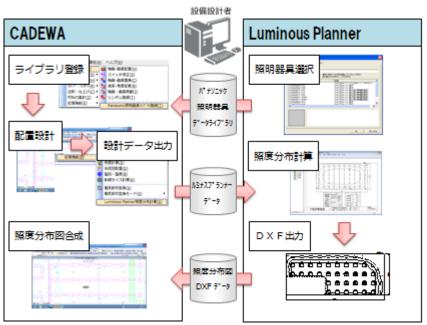
● パナソニック株式会社の照明設計アプリケーション「Luminous Planner」(以下ルミナスプランナー)で作成されたパナソニック照明器具データライブラリを読込み、CADEWAの機器・器具に変換(シンボル登録)する機能を追加しました。

変換されたシンボルは機器・器具として扱う事ができます。これにより、パナソニック照明器具品番で材料集計することが可能となり、設計・積算業務の効率化が図れます。

※Luminous Planner はパナソニック株式会社の登録商標です。

3. Luminous Planner 照度分布計算コマンド [新機能] (CADEWA Real LT は除く)

● CADEWA の図面上に配置されたパナソニック照明器具シンボルと部屋情報をルミナスプランナーのファイルフォーマットで出力する機能を追加しました。



これにより、CADEWA から出力したパナソニック照明器具の配置設計データをルミナスプランナーで読込み、情報を入力することなく照度分布図を作成することができます。 また、作成した照度分布図は、ルミナスプランナーで DXF ファイルに保存し、CADEWAで読込むことができるので、照度設計の効率化が図れます。

4. 回路番号コマンド [機能改善]

● ジャンプした際、形状・スタイル・レイヤを取得するように改善しました。 これにより、同じ形状設定で作画できるようになり、作業の効率化が図れます。

【空調・衛生機能】

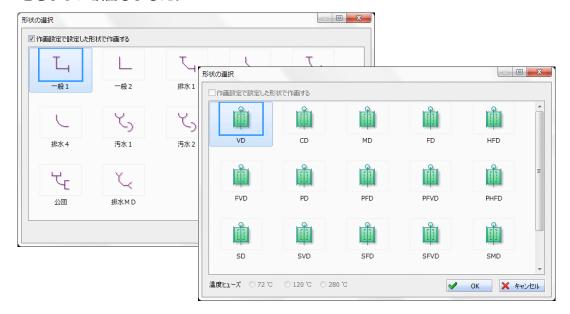
1. 機器・器具置換コマンド [機能改善]

● 継承項目の設定に異縮尺の設定を追加しました。 これにより、置換する機器・器具の異縮尺を「継承する/継承しない(カレント異縮尺に 作画します)」が容易に変更でき、作業の効率化が図れます。



2. 継手選択ダイアログ [機能改善]

- 継手選択ダイアログを [機器・器具配置] コマンドの部材選択ダイアログの見た目に合わせました。
- 単線配管・ダクト継手選択ダイアログ,複線ダクト継手選択ダイアログのサイズを変更できるように改善しました。



3. ルート作画 [機能追加]

● 接続処理の対象として、制気口ボックス・チャンバを追加しました。

4. 継手削除コマンド [機能追加]

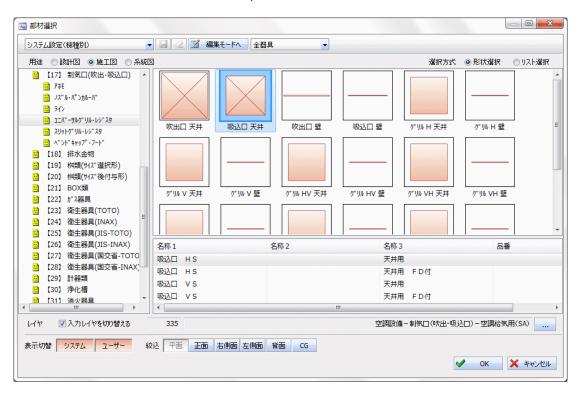
● 処理対象として、配管の複線組フランジ・ハウジングを追加しました。

5. スライド移動コマンド [機能追加]

● 処理対象として、配管の複線組フランジ・ハウジングを追加しました。

6. 部材の追加 [機能追加]

● ユニバーサルグリル・レジスタの HS, VS に吸込口を追加しました。



部材の追加には以下の操作が必要です。

- ① 「機器・器具配置」コマンドを起動します。
- ② コマンドダイアログの「選択」ボタンをクリックし、「部材選択」ダイアログを開きます。
- ③ 「編集モードへ」ボタンをクリックし、「選択モード」から「編集モード」に切り替えます。



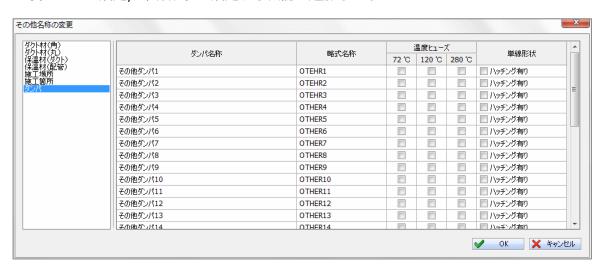
④ 「シンボルマスタから階層未定義部材を取得」ボタンをクリックします。追加された部材が「階層未定義部材」フォルダに表示されます。必要に応じて別フォルダに移動してください。



2013SP1/機能追加及び機能改善項目

● ダンパの種類に、差圧ダンパ,避圧ダンパ,室圧抑制ダンパ,その他ダンパ 1~30 を追加しました。

また、[ルート部材登録] コマンドにて、その他ダンパ 1~30 に対して名称,略式名称, 温度ヒューズ設定,単線形状を設定する機能を追加しました。



● 配管部材に空調ドレン用結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管・継手を追加しました。

以上